

以下は、今回の選考合宿（4月11日～24日）と選考結果に対するヘッドコーチ Maxrath（マックス）のレポートの翻訳です。

原文は英語です。選手についての敬称は略してありますがご了承ください。

（訳文の責任は朝倉直樹にあります）

JARA ヘッドコーチのレポート

Diethelm Maxrath

戸田、22.04.2009

「ポツナンの世界選手権、ミュンヘンおよびルツェルンのワールドカップおよびアムステルダム国際レガッタのためのナショナルチームの選考について。」

コメント:

選考過程はヘッドコーチが作成し、JARA が承認した公正な方法で行われることで、選手にとって平等な機会を与えている。選考は選手が達成した結果に完全にに基づいている。また、国際レースで JARA を代表するベストの選手を見つけるこの公正なプロセスを妨げることになるあらゆる主観的な判断を避けるように私は努力した。

私は選考に次の方法を選んだ:

エルゴテスト 2000m

個人ランキングのためのシートレースタイムトライアル 1250m

世界選手権種目で最速クルーを選んだことを検証するための 2000m レース

2クルー間の優劣を見るための2勝先勝方式の「並べ」

世界を目指す3つのカテゴリーの（選考に参加した）選手数:

1) 軽量級女子スカル: 5人

2) 軽量級男子スカル: 2人

3) 軽量級男子スイープ: 16人

1) 軽量級女子スカル

エルゴ、シートレース（1x、2xで1250m。6レース）、2000mレース（1xと2x）の総合結果は、①岩本、②坂東、③藤坂、④福本、⑤首藤の順であった。

この結果に基づき、福本と首藤には5月のU23選考に回るように指示した。藤坂についてはCrew JAPANの一員として、バックアップとさらなる成長を目指してトレーニングを積むように指示した。

岩本は、明確に第1位である。岩本と坂東はそれぞれがLW1xでの個々の成長を目指すべきである。この二人のコンビはLW2xとしては十分な早さを示すことができなかった。このことで岩本をLW1x代表とすることを推薦した。2012年ロンドン五輪に強力なLW2xを造り上げるためには、現在U23の選手が絶対に必要であり、今シーズン体重調整の関係からCrew JAPANに選考されない選手のCrew JAPANへの復帰も視野に入れる必要がある。

坂東については、LW1xの第2代表として、チャンスを与え、国際経験を積み、さらなる成長を図ることが考えられる。

2) 軽量級男子スカル

エルゴテスト終了後、溝辺が選考を辞退したため、不運にも武田は唯一の軽量級男子スカル選手となってしまった。武田はエルゴでもベストの成績を示し、6回の1250mレース、2回の2000mレースでも良好な成績を示した。私は彼をLM1x代表とすることを推薦する。Poznanの世界選手権の後で、今回残念ながら選考に参加できなかったU23の選手の誰かと組ませることで2012年に向けた可能性のあるクルーを発足させたいと考えている。

3) 軽量級男子スイープ

選考合宿前に発表したようにエルゴテストで軽量級スイープの選手を両サイドそれぞれ6人に絞り込んだ。この12人の選手に対し考えられる6つの組み合わせ全てで、通常使われる距離1250mのシートレースを行った。このシートレースはタイムトライアル形式で行われたが、これは個人のランキングをクルー間のかけひきを除去して見るためである。2日間にわたる2-の6レースで得たランキングを基にLM 4-を3クルー組成した。この3クルーで2000mの並べを2回行った。この結果、ランキング上位の選手で組成したナンバー1クルーが、両レースとも1艇身以上の差で勝ち、シートレースのランキング結果を確認することになった。1位クルーのタイムを世界最高記録とパーセンテージ比較すると武田のシングルスカルよりわずかに良かった。この結果を受けてこのLM4-（佐藤、須田、片岡、大元）を派遣することを推薦する。

軽量級男子スカルに人がいないことにより、LM1xをLM2xまたはLM4-のリザーブとして派遣する従来の計画を変更せざるをえなかった。LM4-メンバーの病気・怪我に備えてLM2-を派遣することを提案する。4回のシ

ートレースから選ばれた最速の 2-ペアは、田立、大同であったが、私は分析の結果、この二人はエルゴとシートレースで上位の二人（浜田、今井）に比べても早いことを立証する必要があると考えた。浜田、今井は二人ともバウサイドで選考に参加し、今回の選考ではバウサイドの選手の方が平均的に強かった。両サイドを漕げるこの二人と、田立、大同のペアで 1250m、2 勝先勝方式の並べを行い両方とも田立、大同ペアが勝利した。私は LM4-のリザーブとして田立、大同の LM2-を派遣することを推薦する。

選考に携わり、選手と私自身を助けてくれた坂本、武良の両氏の助言により全ての選考はなされた。

必要な時に常に来てくれた朝倉氏、JARA に感謝したい。

チームのためによく仕事をし、選手の精神的な支えでもあったチームマネージャーの中村さんに感謝したい。

最後になったが、常にチームのために働いてくれた中坂氏、大村氏、野中氏に感謝したい。

もし他のどなたかを忘れていたらならばお許し願いたい！我々のチームの成功のためにはあらゆるサポートが必要である！

私は選考の苦しい時に選手が示したフェアな態度に敬意を示す！

Diethelm Maxrath

ヘッドコーチ JARA